

# 救急、救助



毎年開催される消防救助技術東海地区指導会に向けた訓練を行っています。令和3年はロープブリッジ渡過訓練、ほふく救出訓練に加え山岳救助技術を発表する訓練も実施しました。この指導会に出場するため隊員は訓練を重ね、救助技術の向上に努めています。新型コロナウイルス感染症の影響で指導会は中止となりましたが、消防本部内での発表会を実施しました。

救助訓練発表会

令和3年7月12日

於：菰野町消防本部

## 救急

令和3年中の救急出動件数は1,458件、搬送人員は1,413人でした。1日あたり平均4.0件の出動で、町民29人に1人の割合で救急車が利用されたこととなります。

救急件数を事故種別で見ると、急病が966件(66.2%)で最も多く、続いて一般負傷が253件(17.4%)、交通事故が123件(8.4%)、その他が116件(8.0%)となりました。

救急件数及び搬送人員が対前年比で増加しました。これは、新型コロナウイルス感染拡大に伴う衛生意識の向上や不要不急の外出自粛といった行動変容により、救急事案が減少傾向にありましたが、ワクチン接種が進み、新しい生活様式を取り入れることで、徐々に日常を取り戻し始めたことが要因の1つではないかと考えられます。

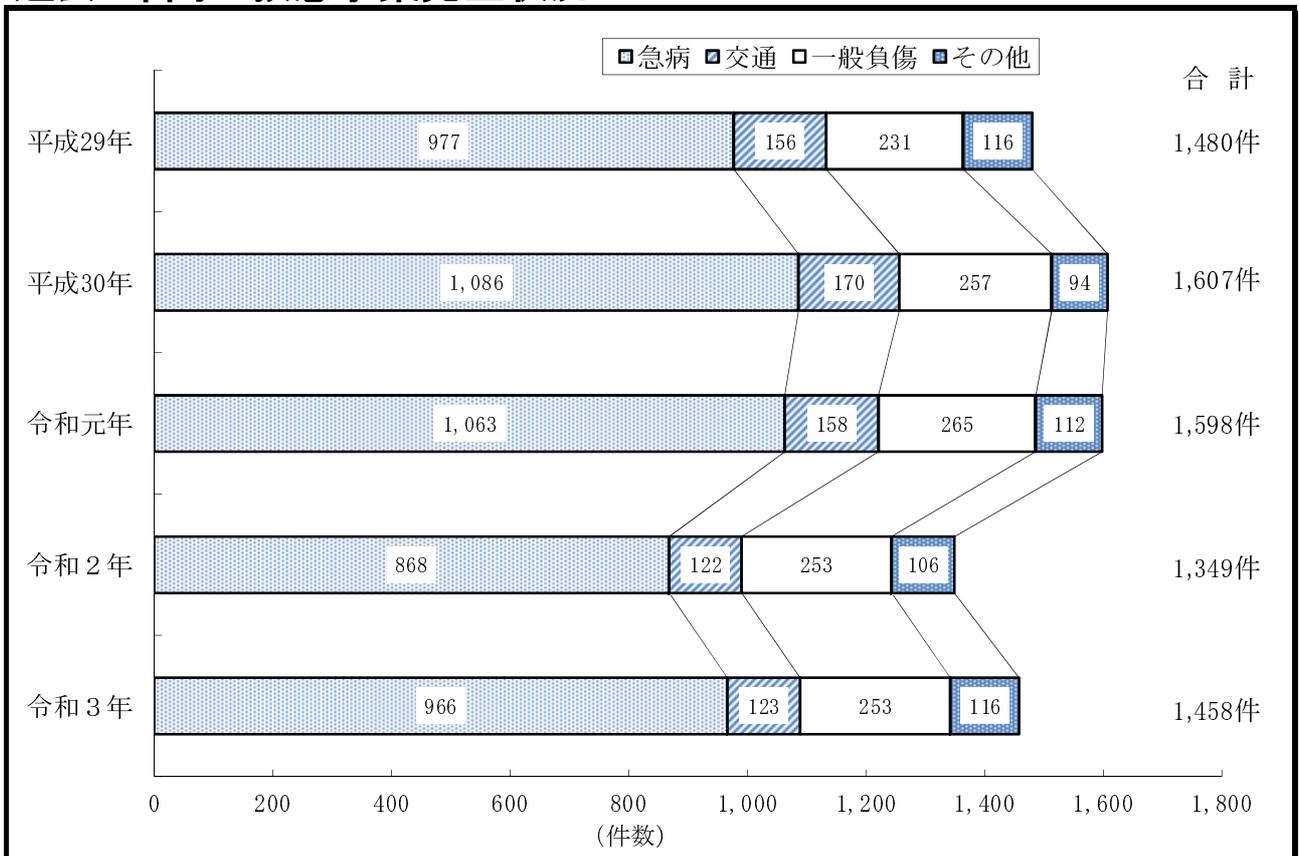
## 救急事案発生状況

区 別		年 別				
		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
全 国	救急件数	6,342,147	6,605,213	6,639,767	5,933,277	
	発生率	499	520	523	473	
三 重 県	救急件数	94,160	100,560	98,919	87,314	
	発生率	519	554	545	493	
菟 野 町	救急件数	1,480	1,607	1,598	1,349	1,458
	発生率	354	384	383	324	352

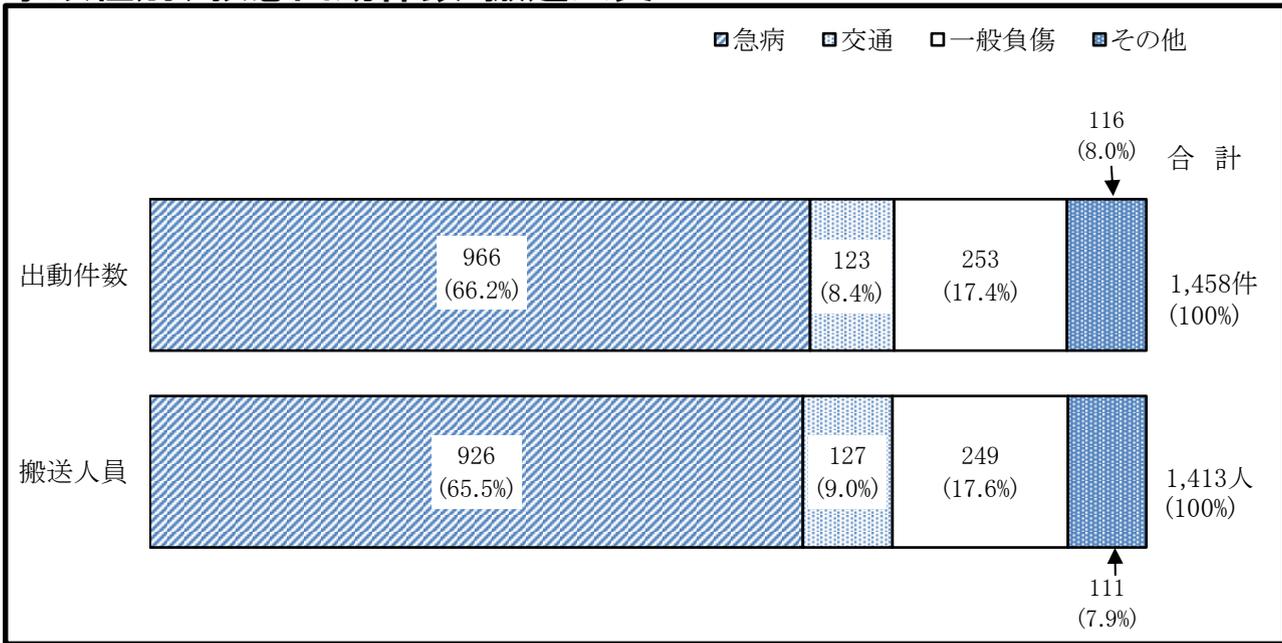
※発生率＝人口1万人あたりの発生件数

菟野町人口 41,476人(令和3年12月31日現在)

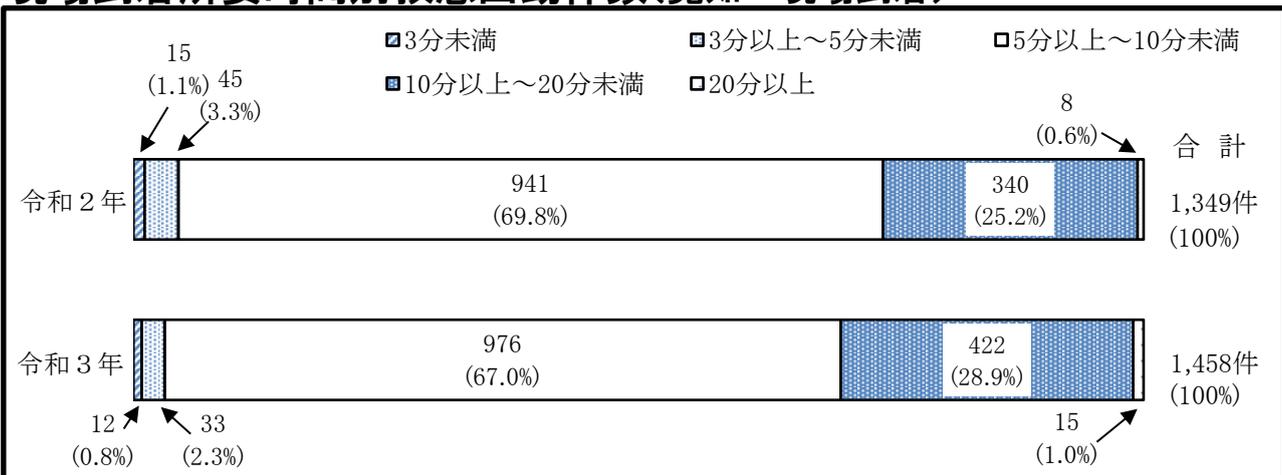
## 過去5年間の救急事案発生状況



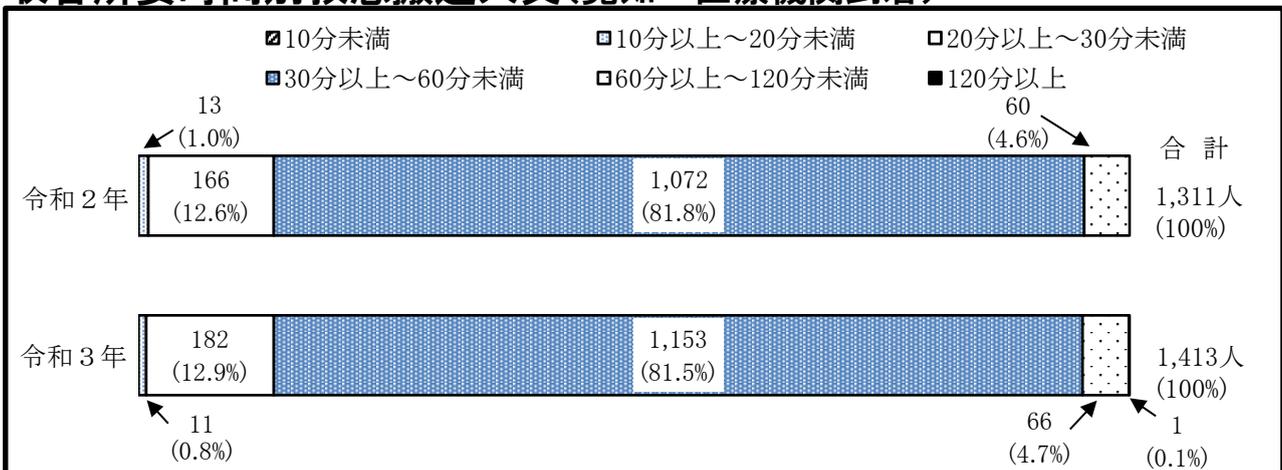
## 事故種別、救急出動件数・搬送人員



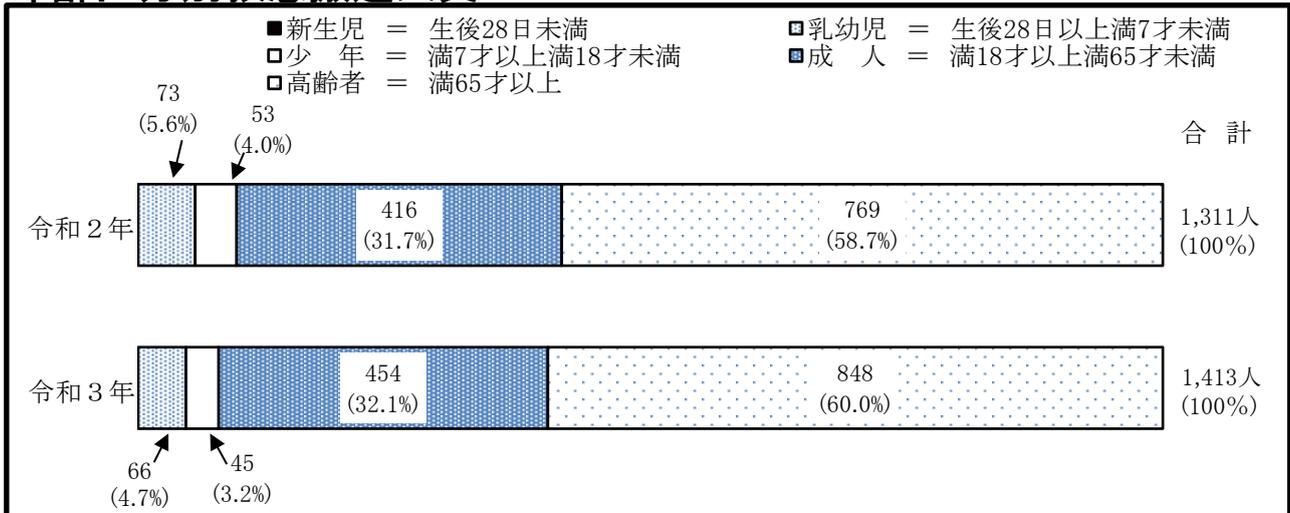
## 現場到着所要時間別救急出動件数(覚知～現場到着)



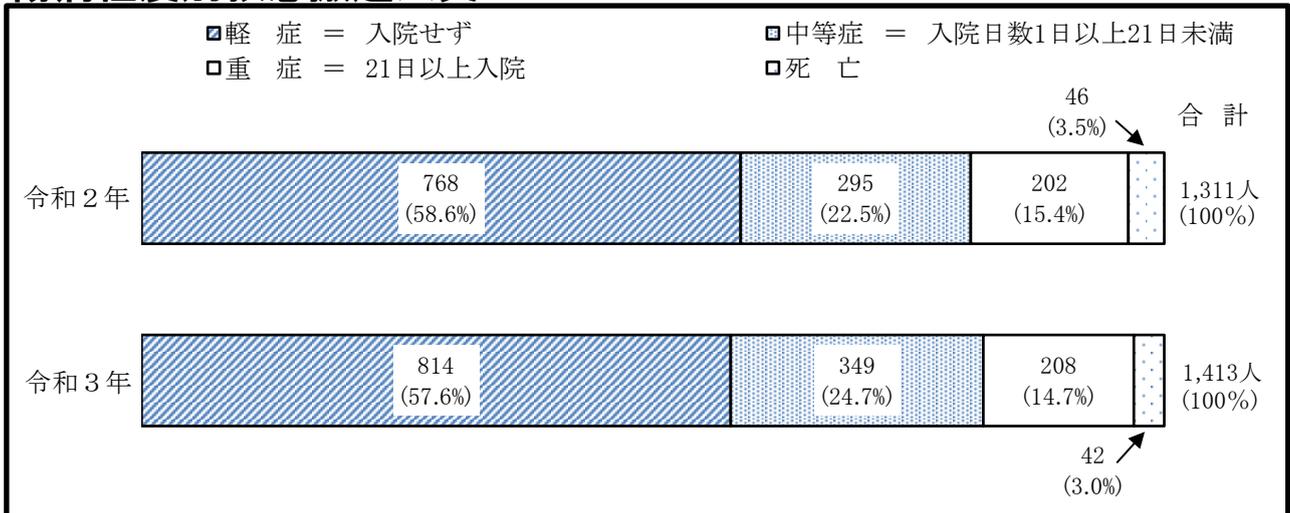
## 収容所要時間別救急搬送人員(覚知～医療機関到着)



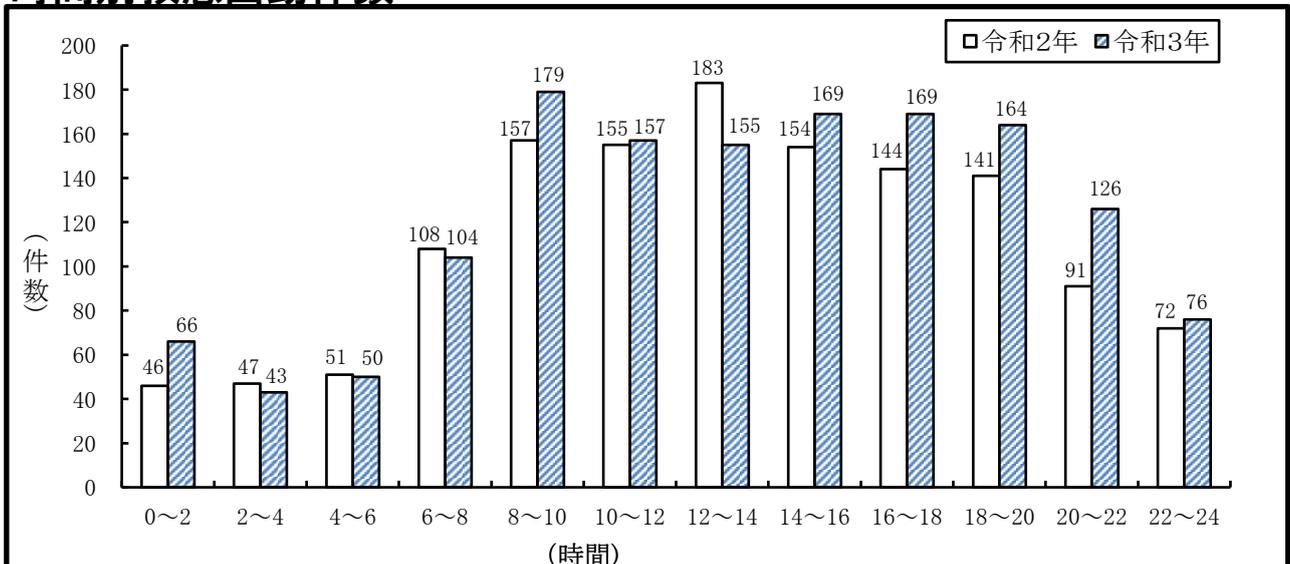
## 年齢区分別救急搬送人員



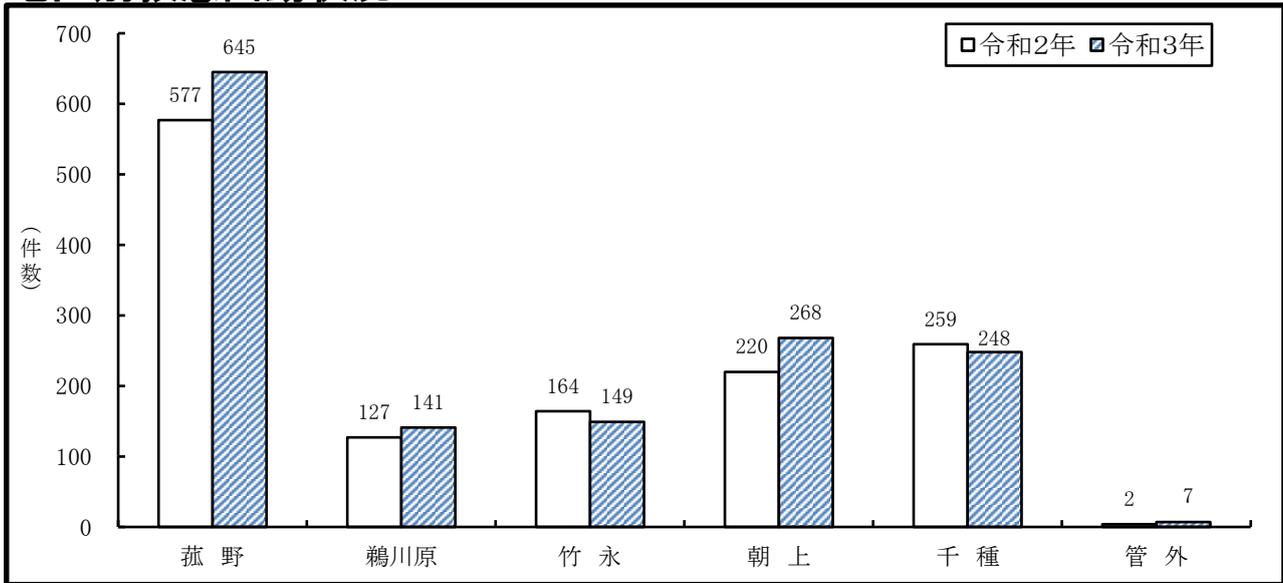
## 傷病程度別救急搬送人員



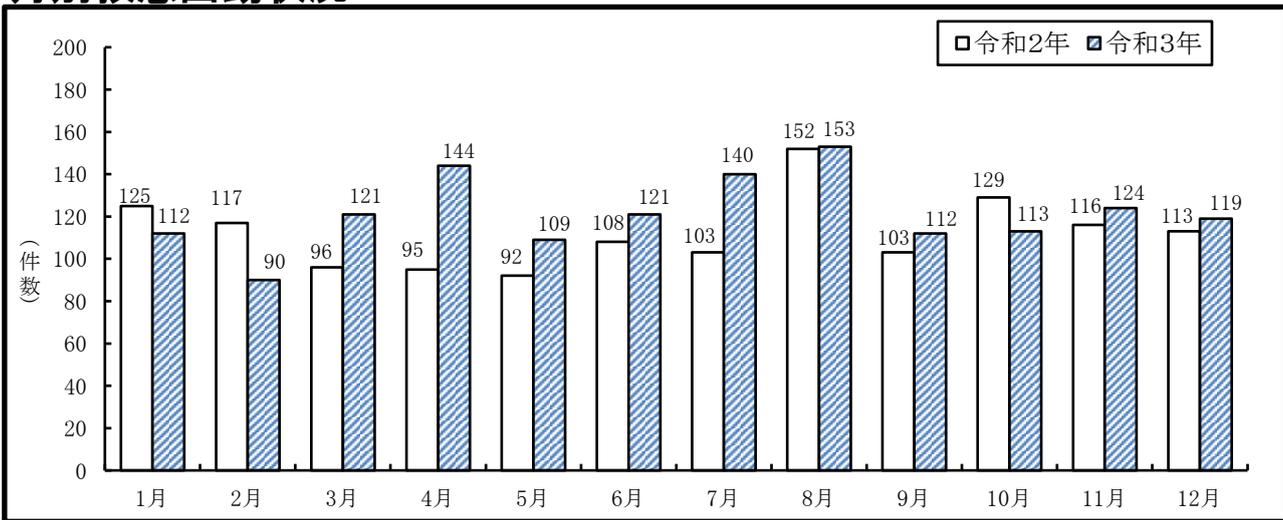
## 時間別救急出動件数



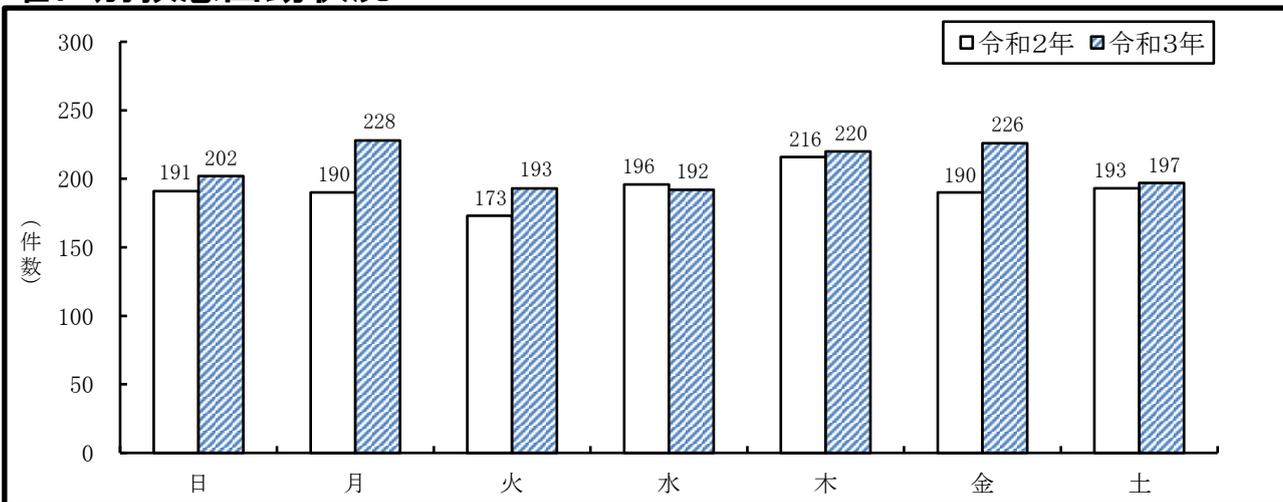
## 地区別救急出動状況



## 月別救急出動状況



## 曜日別救急出動状況



### 年齢区分別、傷病程度別救急搬送人員

年齢区分 傷病程度	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	令和3年 合計	令和2年 合計
死亡			1	6	35	42	46
重症		1	2	45	160	208	202
中等症		13	6	71	259	349	295
軽症		52	36	332	394	814	768
その他							
合計		66	45	454	848	1,413	1,311

### 事故種別、年齢区分別救急搬送人員

事故種別 年齢区分	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他	令和3年 合計	令和2年 合計
新生児													
乳幼児				2			20			44		66	73
少年				8		9	10		1	16	1	45	53
成人	1			90	16	1	45	8	7	267	19	454	416
高齢者				27	2		174	1	1	599	44	848	769
合計	1			127	18	10	249	9	9	926	64	1,413	1,311

### 事故種別、傷病程度別救急搬送人員

事故種別 傷病程度	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他	令和3年 合計	令和2年 合計
死亡				1			1		1	36	3	42	46
重症				10	3		39		2	127	27	208	202
中等症				12	4	2	47	2	2	253	27	349	295
軽症	1			104	11	8	162	7	4	510	7	814	768
その他													
合計	1			127	18	10	249	9	9	926	64	1,413	1,311

## 事故種別、時間別救急出動件数

区分	事故種別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	令和3年合計	令和2年合計
休日					14		3	46	2	2	129	1	197	241
休日以外の日		1			109	19	7	207	7	9	837	65	1,261	1,108
時間内	0～2				3	1		3		2	55	2	66	46
	2～4				1			5			37		43	47
	4～6				3			7			40		50	51
	6～8				11			17	1	1	74		104	108
	8～10				15	3		34	3		118	6	179	157
	10～12				17	5	3	23	1	1	95	12	157	155
	12～14				8	1	2	36	1	1	89	17	155	183
	14～16		1		15	3	4	34		1	102	9	169	154
	16～18				20	5		26	1	1	102	14	169	144
	18～20				20		1	28	1	2	109	3	164	141
	20～22				9	1		30	1		83	2	126	91
22～24				1			10		2	62	1	76	72	
令和3年計		1			123	19	10	253	9	11	966	66	1,458	
令和2年計					122	22	9	253	1	15	868	59		1,349

## 事故種別、応急処置件数

事故種別	急病	交通	一般負傷	その他	合計
止血	7	12	53	11	83
固定	15	94	111	20	240
人工呼吸	9				9
心肺蘇生	34	1	1	1	37
酸素吸入	223	12	8	34	277
気道確保	39	1	2	1	43
気道確保（特定行為）	7				7
保温	296	26	76	35	433
被覆	13	20	68	12	113
除細動	4				4
静脈路確保	34	2		1	37
薬剤投与	17	1			18
ブドウ糖投与	3				3
その他	3,231	399	688	323	4,641
合計	3,932	568	1,007	438	5,945

※人工呼吸は単独で行った場合のみ計上

※その他は血圧、血中酸素飽和度の測定、聴診器による呼吸音聴取等を計上

## 事故種別、医療機関別救急搬送人員

告示別等	事故種別		急病		交通		一般負傷		その他		令和3年合計		令和2年合計	
	開設別		うち 管外											
救急告示医療機関	国立												1	1
	公立		572	572	68	68	126	126	80	80	846	846	803	803
	公的		291	77	55	32	109	50	23	12	478	171	440	151
	私的	病院	53	53	4	4	14	14	5	5	76	76	60	60
		診療所												
	計		916	702	127	104	249	190	108	97	1,400	1,093	1,304	1,015
その他の医療機関	国立												1	1
	公立													
	公的		1	1							1	1		
	私的	病院	5	5					2	2	7	7	3	3
		診療所	4	4					1	1	5	5	3	3
	計		10	10					3	3	13	13	7	7
計	国立												2	2
	公立		572	572	68	68	126	126	80	80	846	846	803	803
	公的		292	78	55	32	109	50	23	12	479	172	440	151
	私的	病院	58	58	4	4	14	14	7	7	83	83	63	63
		診療所	4	4					1	1	5	5	3	3
	計		926	712	127	104	249	190	111	100	1,413	1,106	1,311	1,022
その他の場所	接骨院等													
	その他													
	計													
令和3年計			926	712	127	104	249	190	111	100	1,413	1,106		
令和2年計			826	644	140	109	243	182	102	87			1,311	1,022

## 救 助

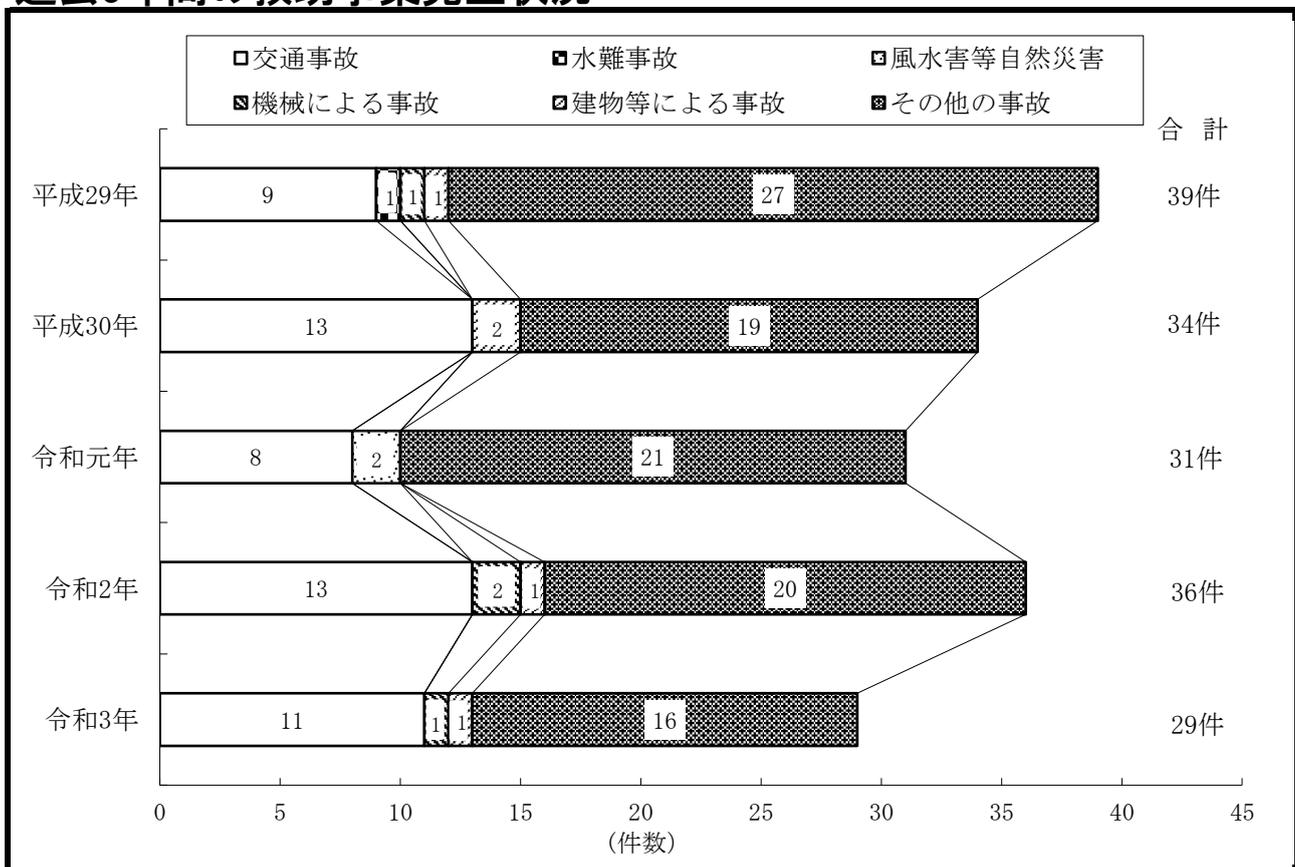
令和3年中の救助出動件数は29件、救助人員は31人でした。

救助件数を事故種別で見ると、その他の事故16件(うち山岳救助11件)が最も多く、交通事故が11件、機械による事故が1件、建物等による事故が1件となりました。

## 救助事案発生状況

年 別		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
区 別						
全 国	救助出動件数	92,336	97,429	96,424	93,989	
	救助活動件数	56,315	61,507	61,340	59,977	
	救助人員	57,664	63,836	63,670	57,952	
三 重 県	救助出動件数	902	876	924	878	
	救助活動件数	560	582	606	575	
	救助人員	664	620	725	633	
菰 野 町	救助出動件数	39	34	31	36	29
	救助活動件数	23	25	22	25	23
	救助人員	24	31	24	26	31

## 過去5年間の救助事案発生状況



## 事故種別、救助出動件数・救助人員

種別 区分	火 災		交 通 事 故	水 事 難 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	令 3 合 計	和 年 計	令 2 合 計	和 年 計
	建 物	他												
出 動 件 数			11			1	1			16		29		36
救 助 人 員			12							19		31		26

※管轄外の出動件数含む

## 事故種別、救助出動人員

種別 区分	火 災		交 通 事 故	水 事 難 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	令 3 合 計	和 年 計	令 2 合 計	和 年 計
	建 物	他												
救 助 隊 員			44			4	4			72		124		151
消 防 隊 員			12									12		18
救 急 隊 員			39			3	3			21		66		87
合 計			95			7	7			93		202		256

## 事故種別、救助出動車両

種別 車両	火 災		交 通 事 故	水 事 難 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	令 3 合 計	和 年 計	令 2 合 計	和 年 計
	建 物	他												
救 助 工 作 車			11			1	1			5		18		20
タ ン ク 車														
ポ ン プ 車			4									4		6
救 急 車			13			1	1			7		22		29
指 揮 車										1		1		
広 報 車										11		11		16
資 機 材 搬 送 車														1
そ の 他 の 車 両										1		1		2
合 計			28			2	2			25		57		74

※その他の車両とは、査察車と防災広報車

## 救助出動状況

番号	事故種別	覚 知 日 時	発 生 場 所(区)	※覚 知 別	
1	交 通	1 月 6 日 ( 水 ) 8 時 15 分	鵜 川 原 ( 下 村 )	報 知 電 話	
2	そ の 他 ( 山 岳 )	1 月 30 日 ( 土 ) 15 時 37 分	菰 野 ( 湯 の 山 )	報 知 電 話	
3	交 通	2 月 19 日 ( 金 ) 15 時 12 分	竹 永 ( 竹 成 )	報 知 電 話	
4	交 通	3 月 15 日 ( 月 ) 15 時 44 分	新名神高速道路上り	報 知 電 話	
5	交 通	4 月 3 日 ( 土 ) 6 時 52 分	菰 野 ( 神 森 )	報 知 電 話	
6	そ の 他 ( 山 岳 )	4 月 3 日 ( 土 ) 7 時 52 分	菰 野 ( 湯 の 山 )	報 知 電 話	
7	そ の 他 ( 山 岳 )	4 月 15 日 ( 木 ) 18 時 14 分	菰 野 ( 湯 の 山 )	報 知 電 話	
8	そ の 他	4 月 18 日 ( 日 ) 13 時 02 分	菰 野 ( 神 森 )	報 知 電 話	
9	交 通	4 月 20 日 ( 火 ) 7 時 20 分	千 種 ( 潤 田 )	報 知 電 話	
10	交 通	4 月 22 日 ( 木 ) 18 時 27 分	竹 永 ( 竹 成 )	報 知 電 話	

※ 報 知 電 話 = 119 番 ( 携 帯 電 話 等 含 む )  
 加 入 電 話 = 一 般 加 入 電 話

出場車両	人員	事故概要等	救助概要等
ポンプ車 救助工作車 救急1号車	10	普通乗用車と軽四トラックの衝突事故により、軽四トラックが横転し、車内に閉じ込められている。	救助の必要はなかったため、救急隊の活動支援を行い担架にて搬送した。
広報車 救急1号車	7	御在所岳裏道登山道を下山中に転倒し、左肩を負傷した。	介添え搬送で登山口まで搬送した。
救助工作車 救急1号車	7	軽四自動車と普通乗用車の衝突事故により、軽四自動車が横転し、2名が車内に閉じ込められている。	車両固定後、後部ドアから救助隊進入し、救急隊と連携し担架にて車外に救出し、搬送した。
ポンプ車 救助工作車 救急1号車 救急2号車	14	大型トラックに中型トラックが衝突し、中型トラックの2名が挟まれている。	油圧器具にて1名救出、可搬式ウインチにて開放後もう1名を救出し搬送した。
救助工作車 救急1号車	7	普通乗用車の単独事故。 車両が横転し車内に閉じ込められている。	車両固定後、人力にてドアを開放し介添えにて救出し担架にて搬送。
広報車 指揮車	8	御在所岳本谷登山道上にて3m滑落し、左足を負傷した。	ヘリコプターによるピックアップ可能な位置まで担架にて搬送後、三重県防災航空隊が医療機関へ搬送した。
広報車	4	御在所岳山頂にて3m滑落し、両足を負傷した。	介添え搬送で登山口まで搬送した。
救助工作車 救急1号車	7	用水路に転落し上がれない。	人力にて引揚げた後、担架にて搬送した。
救助工作車 救急1号車	7	普通乗用車同士の衝突事故により1台が横転し、車内に閉じ込められている。	すでに車外へ出ており、救助の必要はなかった。漏油を確認したため除去を行った。
ポンプ車 救助工作車 救急1号車	9	カーブにてマイクロバスと軽自動車の接触事故により、軽自動車が横転し、2名が車内に閉じ込められている。	車両固定後、1名を背負い搬送にて救出、もう1名は救急隊が介添えにて救出し搬送した。

## 救助出動状況

番号	事故種別	覚 知 日 時	発 生 場 所(区)	※覚 知 別	
11	そ の 他	5 月 1 日 ( 土 ) 7 時 44 分	朝 上 (小 島)	報 知 電 話	
12	そ の 他 ( 山 岳 )	5 月 4 日 ( 火 ) 13 時 45 分	菰 野 (湯の山)	加 入 電 話	
13	建 物 等	6 月 15 日 ( 火 ) 17 時 05 分	菰 野 (菰野第二区)	報 知 電 話	
14	そ の 他 ( 山 岳 )	7 月 18 日 ( 日 ) 10 時 12 分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	
15	交 通	7 月 18 日 ( 日 ) 23 時 22 分	鵜 川 原 (下 村)	報 知 電 話	
16	そ の 他	7 月 20 日 ( 火 ) 10 時 16 分	四 日 市 市 (管 外)	報 知 電 話	
17	交 通	7 月 26 日 ( 月 ) 17 時 45 分	四 日 市 市 (管 外)	報 知 電 話	
18	交 通	8 月 20 日 ( 金 ) 18 時 16 分	菰 野 (菰野第三区)	報 知 電 話	
19	そ の 他	8 月 26 日 ( 木 ) 12 時 18 分	菰 野 (菰野第一区)	報 知 電 話	
20	そ の 他 ( 山 岳 )	8 月 27 日 ( 金 ) 14 時 25 分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	

※ 報 知 電 話 = 119 番 ( 携 帯 電 話 等 含 む )  
 加 入 電 話 = 一 般 加 入 電 話

出場車両	人員	事故概要等	救助概要等
救助工作車 救急1号車	7	田植え中に田植え機から落ち、 機械の下敷きになり動けなくなっ た。	救急隊により人力にて救出し搬送し た。
広報車	4	御在所岳裏道登山道下山中に5m 滑落し、前額部、口腔内及び左足 を負傷した。	ヘリコプターによるピックアップ可能 な位置まで担架にて搬送後、三重県防 災航空隊が医療機関へ搬送した。
救助工作車 救急1号車	7	家の中に子供2名が閉じ込められ ている。	建物の窓ガラスを破壊した際に、建物 内部より子供が自力で開錠したため救 急隊に引き継いだ。
広報車 救急1号車	7	御在所岳中道登山道を登山中に胸 が苦しく動けなくなった。	レスキューハーネスにて搬送し救出し た。
救助工作車 救急1号車	7	軽四自動車による単独自損事故に より車両が横転し、車内に閉じ込 められている。	救急隊と連携し、担架にて救出し搬送 した。
救助工作車 救急2号車	7	重機で法面の草を刈り取り中に転 落し、機内に閉じ込められてい る。	漏油を除去し、重機の窓をガラスカッ ターにて破壊後、介添えにて救出し た。
救助工作車 救急2号車	7	軽四自動車同士の衝突事故により 1台転落し、車内に閉じ込められ ている。	四日市中央分署消防隊及び四日市西分 署救急隊と連携し、担架にて救出し搬 送した。
救助工作車 救急1号車	7	軽四自動車と普通乗用車の衝突事 故により、軽四自動車内に閉じ込 められている。	自力で車外に出ており救助の必要性が ないため現場到着前に引揚げ。
救助工作車 救急1号車	7	屋根から転落し、土留めと外壁の 間に挟まって抜け出せなくなっ た。	人力にて救出し搬送した。
広報車	4	御在所岳一の谷新道下山中に道に 迷い動けなくなった。	自力歩行可能であり、共に下山し警察 に引き継いだ。

## 救助出動状況

番号	事故種別	覚 知 日 時	発 生 場 所(区)	※覚 知 別	
21	その 他 (山 岳)	10 月 2 日 (土) 14 時 49 分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	
22	その 他 (山 岳)	10 月 14 日 (木) 16 時 08 分	朝 上 (切 畑)	報 知 電 話	
23	その 他 (山 岳)	10 月 16 日 (土) 11 時 36 分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	
24	機 械	10 月 29 日 (金) 11 時 23 分	菰 野 (菰野第一区)	報 知 電 話	
25	交 通	11 月 11 日 (木) 10 時 20 分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	
26	その 他 (山 岳)	11 月 14 日 (日) 15 時 15 分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	
27	その 他	11 月 27 日 (土) 22 時 39 分	朝 上 (田口新田)	報 知 電 話	
28	その 他 (山 岳)	12 月 5 日 (日) 13 時 29 分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	
29	交 通	12 月 31 日 (金) 11 時 12 分	朝 上 (小 島)	報 知 電 話	

※ 報 知 電 話 = 119番 (携帯電話等含む)  
 加 入 電 話 = 一般加入電話

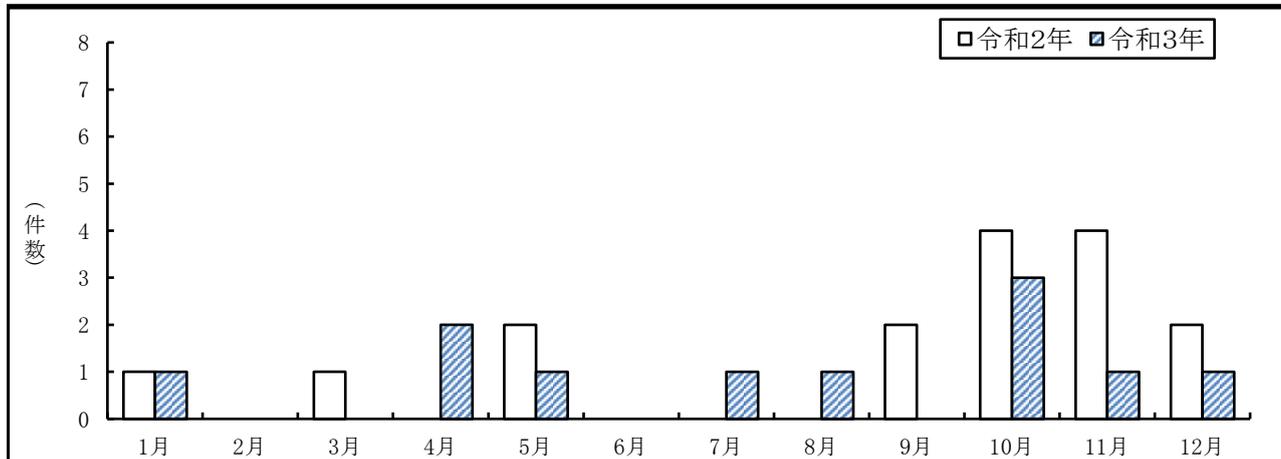
	出場車両	人員	事故概要等	救助概要等
	広報車	4	御在所岳裏道登山道を下山中に両足の痙攣が起こり、動けなくなった。	ヘリコプターによるピックアップ可能な位置まで介添えにて搬送後、三重県防災航空隊が医療機関へ搬送した。
	広報車	4	福王山を下山中に道に迷い動けなくなった。	自力歩行可能であり、共に下山し警察に引き継いだ。
	広報車 公用車	8	御在所岳中尾根にてクライミング中に約8m程滑落し、頭部を負傷した。	応急処置後、ヘリコプターによるピックアップ可能な位置まで担架にて搬送後、三重県防災航空隊が医療機関へ搬送した。
	救助工作車 救急1号車	7	機械に誤って右手の手指が挟まれた。	挟まれておらず、救助の必要はなかったため、情報収集し引揚げた。
	救助工作車 救急2号車 救急3号車	10	ブレーキとアクセルの踏み間違いにより、約5m転落し、車内から3名が出られない。	ガラスカッターを使用してスペースを作り担架にて救出後、三連梯子にて高所から地上へ降ろし搬送した。
	広報車 救急1号車	7	鎌ヶ岳下山中に転倒し、両手首を負傷した。	自力で下山しており、救急隊へ引継いだ。
	救助工作車 救急1号車	7	誤って道路脇の水路へ転落した。	救急隊と連携し、担架にて救出し搬送した。
	広報車	4	御在所岳一の谷新道を下山中に足を滑らせ、約50m程滑落し、首を負傷した。	ヘリコプターによるピックアップ可能な位置まで担架にて搬送後、三重県防災航空隊が医療機関へ搬送した。
	救助工作車 救急1号車 ポンプ車	10	軽四自動車と普通乗用車の衝突事故により、軽四自動車内に閉じ込められている。	自力で車外に出ており、救助の必要性なし。

## 山岳救助

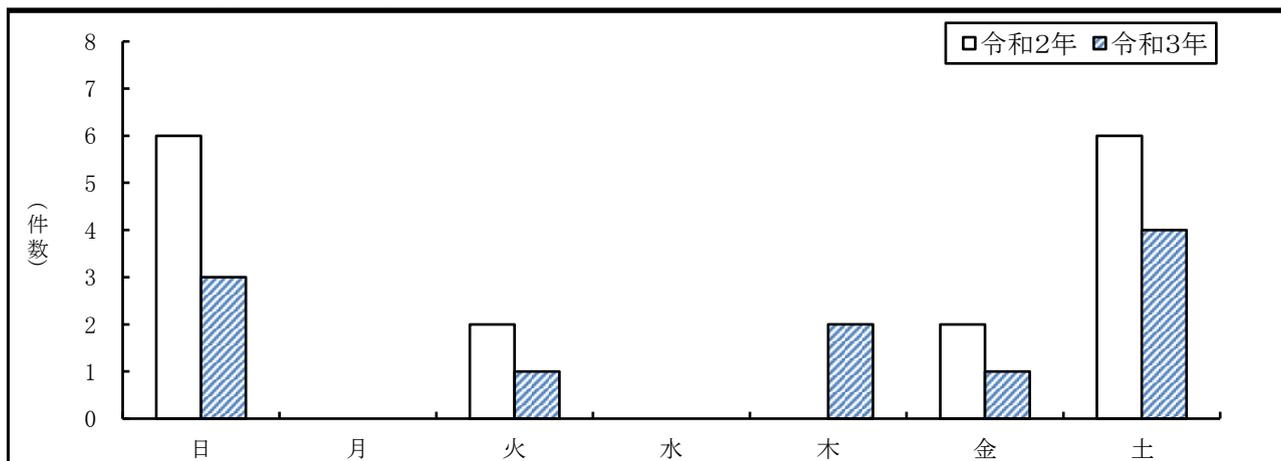
当町は面積の約3分の1が山岳地帯で多数の登山者が入山することから年間を通して山岳救助事案が多く発生しています。

山岳救助事案の半数が三重県防災航空隊の防災ヘリコプターと連携し救助活動を行います。山岳救助の出動から救助完了までの平均活動時間は2時間15分であり、最長活動時間は6時間19分を要しました。

### 月別山岳救助出動状況



### 曜日別山岳救助出動状況



### 時間別山岳救助出動状況

